

団体名： ちば夜間中学をつくる会

事業・活動名： 自主夜間中学

使途&助成金額： 会場費・ボランティア保険代他／153,200 円

自主夜間中学とは

毎週木曜日の 17 時半から 20 時に千葉市高洲コミュニティセンターで開いている自主夜間中学。年齢・国籍・学力は不問、授業料は無料で、誰でもいつからでも学ぶことができる場として 2018 年 10 月に開校されました。新型コロナウイルス感染が拡大した 2020 年 3～6 月までは休校し、7 月より再開。再開後は子どもの参加が減り、現在の学習者は大人が中心。マスクやフェイスシールドの着用、換気にも気をつけ開催しています。

カリキュラムは生徒の数だけ

現在、学習者（学ぶ人）は 20 人弱、スタッフ（教える人）は約 25 名が参加しています。学習者は、様々な理由で学校に行けなかった人や不登校の子、日本語を学びたい外国の方が登録、自由に参加しています。

学習者の半分は外国人、近隣に多く住む中国の方には口コミで広がり、子育て後に日本語を学びに来る方もいるそうです。

読み書きを習いたい、日本語能力試験の勉強をしたいなど学習者のニーズに合わせたマンツーマンの指導があちこちの机で行われ、皆さん真剣そのもの。学びたいという気持ちが伝わってきました。

スタッフは元教師や語学に強い元会社員など多彩な顔触れ。毎回、閉校後にミーティングを行い、情報を共有しています。

多様な学びに対応できる場を

千葉市に公立夜間中学を設置することは目標ですが、中学校と同様の教育を提供する公立夜間中学に通いたい人もいれば、自分の学びたいことだけ教えてほしい人もいます。背景も様々なため、多様な学びに対応するには公立と自主夜間中学の両方が必要、と代表の竹内さん。自主夜間中学は公的な支援はないため、助成金で会場費とボランティア保険代を出せたことはとても助かったと話してくれました。



福祉委員長 田端 知江